

やすらぎ

編集・発行
〒540-0011 大阪市中央区農人橋 1-4-20
南大江会館 (老人いこいの家)
南大江地域活動協議会
南大江地域ネットワーク委員会
責任者 伊藤 弘一郎
題字 中央区長 柏木 陸 照

南大江地域活動協議会 だより 特別号 2013.8.1

第二番目の取組みは、「共助」災害時に人が人を助け合うということです。これは誰もが最初に考え、思いつく大切な事です。でも冷静な時は頭の中の常識的な事ですが、いざパニック時には、どうでしょうか？被害を最小限にとどめるには、

「備えあれば憂いなし」として、私達南大江地域は今年を「命を守る防災の年」と位置づけて、地域に暮らしている人達から学校・幼稚園・企業やその他のいろいろな団体の皆様方と一緒に「真剣に取組んで行く所存です」。

その第一番目として、現在は自分や家族の命を守る「自助」として各町会長さんに「命のカプセル」「安心安全カード」の全戸普及を目指してご協力して頂いております。このことは災害時以外にも日常生活の中で緊急な事態の時でも自分自身の情報を提示して、自身の安全を守る事に役立つ事にもなります。

「南大江地区自主防災訓練」実施について



南大江地域活動協議会
会長 伊藤 弘一郎

南大江地域の皆様には、日頃からいろいろと地域活動にご理解とご協力下さいまして、心から御礼申し上げます。

さて、あの東日本大震災から二年と数か月が経ちましたが、阪神淡路の大震災と併せて、いまだにあの日の悲惨な状況と怖さは、記憶の中から消える事も忘れる事も出来ません。南海トラフを発生源とする巨大地震は、今後三十年以内に発生する確率が60%とされています。また、私達地域の近くには上町断層帯もあり地震規模もマグニチュード7.5〜7.8相当の被害が想定されます。そこで

第1回南大江健康ウォーク(奈良県明日香村) 平成25年5月25日



高松塚古墳



岩屋山古墳



ガイドさんの案内で楽しく



伝飛鳥板蓋宮跡(でんあすかいたぶきのみやあと)



近鉄「阿部野」駅 柏木区長出発のお見送り

☆第一回南大江健康ウォーク 明日香村(奈良県) 散策☆
堀井 由里子・日置 美樹

初夏を思わせる陽気となった、平成25年5月25日(土)中央区で初めての取り組みとして地域活動協議会主催の南大江健康ウォークが開催されました。

参加者は66名で中央区役所職員の7名の方々、南大江東連合・西連合から町会長・熟年クラブ・民生委員児童委員・女性会・青少年三団体・クリン作戦隊等の皆様が含まれています。ガイド役の東野様・安藤様は若い頃から歴史についてかなり勉強されている方です。

9時に集合し柏木中央区区長のお見送りを受けて近鉄「阿部野」駅を出発し、10時すぎには奈良の「飛鳥」駅に到着しました。

多人数で長く続く列にもかかわらず無事に車道を通り抜け国営飛鳥歴史公園にて飛鳥美人の壁画のレプリカを見学、高松塚古墳の発見は昭和47年地元農民がシヨウガの貯蔵穴を掘った時カチンと石室らしき物にぶつかった事であると知りしました。石室は意外に小さな物でした。古墳時代・後期(飛鳥時代)は天皇の権勢とその死を荘厳する役割が古墳であり、その形は八角形であることを目で見て感じる事ができました。小高い丘の中尾山古墳から橘寺や亀石を見ながら昼食は川原寺にて、麦ごはんのころ飯や鮎の甘露煮等素朴な料理でしたが皆とてもおいしいと好評で、おかわりをする人もいました。ここで前半のコースは終了し、後の散策は自由参加となりましたが大半の方々には石舞台へと移動しました。

石舞台古墳は上部には封土がなく総重量約2300トンの大規模の古墳を見学。石室のなかにはすこしひんやりして木漏れ日が差し込んでいました。石舞台古墳の前で集合写真を撮り、石舞台を出発、伝飛鳥板蓋宮跡、鬼の雪隠・鬼の塚、吉備姫王墓・猿石、岩屋山古墳へ、岩屋山古墳はあまり大きくない古墳でしたが、封土もあり希望者だけ古墳にのぼり、今日歩いた場所を一望できて素敵なおときを体験できました。

無事に東野様・安藤様のボランティアガイドのお力添えのおかげで、「飛鳥」駅に到着する事ができました。ガイドありがとうございます。

第一回南大江健康ウォークも初めての試みでしたが、来年も参加したいとの声もあり第二回も楽しみにしています。

第1回南大江地区自主防災訓練会議(南大江小学校)

平成25年7月1日



南大江女性学級 防災講座

平成25年7月5日



編集後記

今号より「南大江地域活動協議会だより」と名称変更致しました。今回は特別号として発行致しました。9月7日に南大江地区での自主防災訓練がありますので、皆様のご協力をお願い致します。 T.K



Y.F

自主防災訓練実施日時

平成25年9月7日(日) 午前10時〜12時

場所 南大江小学校 他

日頃から地域住民の皆様が地域活動への参加や協力によるコミュニケーションが最も重要な事です。そして、次に地域内での役割分担や防災計画の策定がとも必要となります。他にも各人での建物の耐震化や防災用品の備蓄、避難への事前準備等々も忘れてはなりません。ここまで来ると、直ぐにでも皆様と一度一緒に、実際の訓練を体験する事が必要となってきます。そして数多いその経験が「一人の命」を守る事に繋がるのです。

先日、七月一日(月)午後六時より南大江小学校において、区役所の職員や東警察署・東消防署の署員数名と大阪市危機管理室のアドバイザーをお迎えして、学校・幼稚園・企業やいろいろな団体のご代表と地域の各町会長様とで「南大江地区自主防災訓練実施について」の第一回会議を開催致しましたところ、ご出席の皆様からは、真剣に熱い質疑応答があり、その関心の高さには深く感動を致しました。この事により平成二十五年九月七日(土)を「南大江地区自主防災訓練の日」と定めまして、その日が来るまでには事前に役割分担や計画・準備等の万全を目指して進めてまいります。そして当日には、本番さながらの訓練を実施したいと思いますので、南大江地域の皆様には回覧、ポスターの掲示にて、後日ご案内を致します。一人でも多く訓練への参加を特にお願ひ申し上げます。

地域内で自分達の出来る事を着実に進めることが「減災」につながり、そのことが「安心で安全な町づくり」となり、やがて私達の地域が目指している「暮らしている皆様を胸を張って自慢の出来る故郷づくり」となるのではないのでしょうか。

地域の皆様との交流会

屋外ふれあい食事会 (銅座公園)



やすらぎ教室 (介護予防教室)



ふれあい喫茶 (カラオケ)



ふれあい食事会 (紙芝居)



ふれあい食事会 (銅座幼稚園の園児)



生涯学習ルーム (箸袋づくり)



◎どうぞお気軽に御参加下さい

平成元年からスタートした南大江生涯学習ルームは、松田登先生のパステル画教室から今年で25年目を迎えました。毎年たんぼの会や中央区役所の作品展に出品し、先生にご指導いただきながら今も続いております。

以後、趣味の講座やWindows95が開始されたところ、小学校のパソコン教室をお借りして、地域の皆様の参加で多くの方が学ぶ機会を得ることができました。

最近では、子どもたちに関連したふれあい事業に発展してきており、絵本の読み聞かせや紙芝居などの講座を企画しております。

今年度は、6月7日に紙で作る小物作りでお人形の箸袋を作りました。6月11日はふれあい食事会で昔ばなしの紙芝居を読み、子どもたちの帰ったよう懐かしうと言われました。

秋には詩吟入門として、南大江会館にて11月7日午前10時より行いますので、皆様の参加をお待ちしております。

また、南大江ドリームカーニバル(PTA行事)では、校庭のテントの下で紙芝居や絵本の読み聞かせで子どもたちとの交流をはかります。ぜひ親子連れでお越しください。

☆南大江生涯学習ルーム☆

南大江生涯学習推進員

堀井・黒木・伊藤明・北山・藤田

詩吟入門(参加者募集しています)

日時 平成25年11月7日(木)午前10時より

場所(問い合わせ)南大江会館

私の人生これからだ

谷町四丁目振興町会

窪堀 よし子

私は淡路島の洲本市で先山の麓で生まれ育ち。家は農家で、お米に玉葱、野菜と麦も作っていました。山の方に家があり学校の行きは下り坂、帰りは上り坂で足も達者でした。小学校四年生よりソフトボールを始め、中学・高校と暑さ寒さの中、練習に励み小六・中三・高三はキャッチャーで、四番バッターで、キャプテンをして勇ましい女の子でした。中学は淡路島で二選大会は洲本高校で兵庫大会では、新人戦三位となり夏の選抜大会では選手宣誓もさせて頂き、初めて両親が応援に来てくれました。ソフトボールに明け暮れて先生にも「よっちゃん」と頼りにされていました。中学では人気がありまして生徒会長になって、女子で初めての生徒会長でしたが世話好きでした。体力もソフトで鍛えているお蔭で七十才迄は、とても健康で感謝でした。主人との結婚も母親が病気で入院中に隣の方のお見舞いに見えた大阪の知人に、娘が田舎がいやで都会にお嫁に行きたいのでお願いしますと頼んで五十六才で亡くなり、私は二十才で主人の方が八卦見に見て頂いたら、私がよく働くと言う事で縁談が進み、私が単車を運転し、後ろに父を乗せて港迄走り船に乗ってお見合いに大阪迄参りました。嫁入道具は私なりに揃えて訪問着を一人で買いに行った時は、お店の人が同情して下さいました。

ちなみに、その当時の農協(今のJA)に努めており先輩に田舎にお嫁に行った方が安心なのにと忠告されましたが、その当時、農作業も今の様に機械化されて楽になるとは夢にも思わなず、牛で耕し田植えも手で植えて、稲刈りも大変でした。

結婚後は、和文タイピストをしていましたので、納期もあり子守(男児三人、上は双生児)とタイピの仕事で五月は決算書打ちがあり夜に・日曜・祝日なしで働き、人様の二倍は働いて仕事は好きで苦にならず。主人は昼はタイピの機械等販売と修理に、夜は印刷と二人で夜中迄よく働きました。七十才で自分で分かった乳癌も国立病院の八十島宏行先生に掛かって検査し、抗がん剤投与で癌は消滅しました。一時はどうなる事かと案じましたが、よく効き目が六ヶ月で八回の抗がん剤投与で、副作用でしんどい目を致しましたが、転移もなく家族や親戚、友人・知人に心配や励まされてよい方向に行って喜び六月三日に武田和先生によりリンパとお乳を手術して、回復もよく十日で退院後は定期検査の運びとなりました。先生方お世話になりました。

根が明るいもので気持ちを強く前向きにアツハツと大きな声を出す良いそうで笑っています。これも私の運命で、友人に乳癌になって二十五年、三年前に又もう片方となりましたが、とても元気に一日一日を大切に暮らしています。その方もご主人が税理士なので仕事を手伝っていて私に勇気を与えてくれます。

私もまだ抗がん剤の副作用も残っており油断は許されませんが、少しでも人様にお役に立てます様に病人さんの気持ちも分るし元気を与えられたいと思います。

やはり健康が一番と思いますのでこれからは「身体を大切に気持ちは大きく明るく」をモットーに暮らして参ります。

私の人生これからだです。

屋外 ふれあい食事会

中村 幸枝

銅座公園のうっそうとした葉桜の間を、初夏の光が通り抜けていた5月18日、朝から「ふれあい食事会」の準備が始まりました。南大江会館から沢山の椅子を運び込み、今年も銅座幼稚園からは施設開放や多くのご支援を頂きました。ネットワーキング委員の方々、地域のボランティアの方たちのご協力も有難いものでした。

70歳以上のお元気な皆様と共に、約150名の集いは賑やかです。旬のお野菜が色鮮やかで美味しいお弁当には、どなたも満たされた様子でした。伊藤委員長・柏木区長のご挨拶を頂きました後、東警察署からは、最近多発している自転車事故に対してのマナーなど、多くのことをご指導に来て下さいました。アトラクションは、全員による合唱で、懐かしい歌の数々でした。「ほつとすていしょん」の皆さまはキーボードを持ち込んで、盛り上げて下さいました。

最後は心ひとつに手締めで、笑顔の解散となりました。

来年もご一緒出来ます事を楽しみに致しております。



Y.F